



第11回常任理事会

日時 平成21年9月8日(火) 18:00~19:27
場所 北海道医師会館9階・理事会室
出席者 長瀬会長、三宅・宮本・畑各副会長、柳山・北野・渡邊・三戸・小山・目黒・藤井・藤原・深澤・橋本・前川・水谷・山科各常任理事、水元・中村・大口各監事
(事務局：島影事務局長ほか11名)

協議事項

第1号 道北ドクターヘリ運航調整委員会委員の推薦に関する件(深澤常任理事)

目黒常任理事を推薦することに決定。

第2号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件(渡邊常任理事)

申請のあった日医生涯教育講座45件、道医認定生涯教育講座50件、合計95件を承認することと決定。

報告事項

1. 第32回日本プライマリ・ケア学会学術会議(2009年プライマリ・ケア関連学会連合学術会議)[8月21日(金)~23日(日)・京都]について(三宅副会長)

「信頼される地域医療を目指して」をメインテーマに8月21日(金)から23日(日)まで国立京都国際会館で前沢会長が会頭となり開催された。参加者は約1,700名。21日開催の評議員会では三学会合併について、平成22年4月1日の合併を目指し新学会名を「日本プライマリ・ケア連合学会」とすること、会長には前沢日本プライマリケア学会長に就任願うこと、合併に向けての今後の方針などの提案があり了承された。

2. 北海道防災総合訓練[9月1日(火)]について

(目黒常任理事)

大規模風水害・地震災害を想定した訓練が行われた。医療救護訓練には余市医師会が参加し、救護所でトリアージを行い関係医療機関と連携して後方医療機関への患者搬送を指示した。参加者は44団体から863名であった。

3. 緊急臨時的医師派遣事業第6回運営委員会[9月2日(水)]について(宮本副会長)

延長申請10件と新たに派遣申請のあった4医療機関の状況について条件を精査の上、派遣を決定した。

4. ねんりんピック北海道・札幌2009「健康フェア」[9月5日(土)~7日(月)]について(藤井常任理事)

ねんりんピックの関連行事として、札幌流通総合会館「アクセスサッポロ」において開催された。当会も「北海道健康づくり実行委員会」の構成団体の一つとして参加し、健康情報コーナーを設け、「健康るるる」等のパネルの展示やパンフレット・チラシ等の配布、教育用DVDの放映を行うなど情報提供した。同コーナーの来場者は約300名であった。

5. 北海道救急医療フォーラム[9月6日(日)・函館市]について(目黒常任理事)

函館市医師会・渡島医師会・当会の主催、函館市・北斗市・七飯町・北海道の共催、地元新聞社等の後援により「安心して暮らせる地域の医療を守るのはあなた自身です」をテーマに開催した。函館市医師会・吉川副会長の基調講演、市立函館病院・武山救命救急センター長と小職がコーディネーターとなり、医療機関、消防、住民、行政それぞれの立場のパネリストによるディスカッションを行った。参加者は236名であった。

6. 日医各委員会報告

(1) 学校保健委員会[8月26日(水)]について

(三戸常任理事)

高山文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課専門官より、学校保健に関する中央情勢として、新型インフルエンザの対応について報告があった。その後、明年2月20日(土)に日医で開催予定の「平成21年度学校保健講習会」に関するプログラムを検討した。また、会長諮問の「学校保健教育の新しい展開」について、各委員の意見を取りまとめた。

(2) 救急災害医療対策委員会[8月26日(水)]について(目黒常任理事)

諮問に関する討議を行った。その後、本委員会に設置されている災害医療に焦点を当てて検討を行う「災害医療小委員会」の審議報告があった。

(3) 医事法関係検討委員会[8月28日(金)]について(橋本常任理事)

大井副委員長からハンセン病問題に関する検証会議で最重要課題となっている「患者・被験者の諸権利の法制化」など、再発防止に向けた患者権利法、医療基本法としての医師法・医療法の再編成について報告後、諮問事項「患者をめぐる法的諸問題について」を審議、引き続き、今後2回の委員会で答申を纏めていくこととなった。

(4) 男女共同参画委員会[9月2日(水)]について

(藤井常任理事)

先般、札幌市で開催した第5回男女参画フォー

ラムの反省点を整理し、次回以降のフォーラムのあり方を中心に協議を行い、今後も日医主導で行っていくこととなった。

(5) 産業保健委員会[9月3日(木)]について

(小山常任理事)

9月10日(木)日医で開催される「第31回産業保健活動推進全国会議」の質問・要望について検討した。また、会長諮問の「産業保健サービス提供体制と産業保健活動支援体制の再構築」についてディスカッションし、11月の委員会で最終案をまとめる。

(6) 勤務医委員会[9月4日(金)]について

(三宅副会長)

答申全体や担当部分の見直しなど答申作成に向け協議した。また、答申目次「医師不足対策」について各委員が具体的な意見を提出することになった。

(7) 医療関係者対策委員会[9月4日(金)]について

(北野常任理事)

8つの新規事業が盛り込まれた平成22年度看護職員確保対策予算(概算要求)の概要等について説明があった。その後、会長諮問の「将来を見据えた看護職種の制度・資格のあり方について」に関するフリートークを行った。

7. 外部各委員会報告

(1) 道民の健康づくり推進委員会 地域・職域連携推進専門部会[8月28日(金)]について

(三戸常任理事)

部会長に小職が、副部会長に西村委員(健康保険組合連合会北海道連合会常務理事)が選任された後、第二次保健医療福祉圏域における地域・職域連携推進連絡会の取り組み状況について報告があった。その後、「北海道にける特定健診・保健指導の課題と今後の推進方策」「がん検診実施状況の把握」等について協議した。

(2) 第2回認知症対策検討委員会[9月7日(月)]について(前川常任理事)

認知症に係る取り組みについて、前回委員会での各委員からの意見を踏まえて事務局が作成した「認知症対策検討委員会報告書(案)」により、認知症の実態把握、医療対策、適切なケアの普及・本人および家族支援、若年性認知症対策等4項目における現状と課題、今後の方向性、短期的対策の面などについて討論が行われた。今後、さらに検討を加え、22年度末を目途にその結果を報告書にまとめ、23年度中に策定する第5期「北海道高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画」へ反映させていくこととなった。

(3) 北海道救急業務高度化推進協議会[9月7日(月)]について(目黒常任理事)

地域メディカルコントロール協議会の開催状況や、事後検証の実施状況等の報告があり、そ

の後、救急救命士資格を有する救急隊員の再教育等について協議した。また、消防法改正に伴う救急搬送・受入れ実施基準の策定に向けた取り組みについて道の考えが示された。

8. 各部報告

(1) 第2回医療政策部担当理事会[8月25日(火)]について(三戸常任理事)

第132回臨時時代議員会の「当面の医療政策」について、提案事項、担当者、起草委員会の進め方などを検討した。

道総医協関連事項(三宅副会長)

1. 救急医療専門委員会[9月4日(金)]について

(目黒常任理事)

三次救急医療体制の整備、小児三次救急医療体制の整備の今後の方向について協議した。

第13回常任理事会

日時 平成21年9月29日(火) 18:02~20:27
場所 北海道医師会館9階・理事会室
出席者 長瀬会長、三宅・宮本・畑各副会長、榊山・北野・渡邊・三戸・小山・藤原・深澤・直江・橋本・前川・水谷・山科各常任理事、大口監事
(事務局：島影事務局長ほか11名)

協議事項

第1号 第132回北海道医師会臨時時代議員会の処理事項に関する件(深澤常任理事)

9月13日開催の臨時時代議員会で採択された決議文を日医会長、都府県医師会長、郡市医師会長、国会・道議会議員、市町村議会議長、政党、関係省庁、マスコミ等へ送付することと決定。(合計668件)

第2号 母体保護法指定医師の指定に関する件

(深澤常任理事)

9月16日の審査委員会で指定「可」とされた新規1名、再審1名の申請者を指定医師とすることに決定。

第3号 平成21年度北海道医師会表彰に関する件

(深澤常任理事)

表彰規程にもとづく会員80名、役員・代議員1名、A会員の病院・診療所従業員235名、国公立等医療機関従業員107名、医師会職員12名の合計435名、並びに特別表彰3名について表彰選考委員会での選考結果にもとづき被表彰者と決定。

第4号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件(渡邊常任理事)

申請のあった日医生涯教育講座66件、道医認定生涯教育講座64件、合計130件を承認することと決定。

第5号 その他

○ 10月行事予定に関する件(事務局)

報告事項

1. 患者接遇に関する研修会について

(水谷常任理事)

標記研修会を、今年度は道内4ヵ所において開催し、8月20日(上川北部)168名、9月2日(留萌)79名、9月11日(恵庭市)59名、9月18日(石狩)69名、合計375名の参加をいただいた。なお、来年度以降は研修内容を一新した上、引き続き開催の予定である。

2. 表彰選考委員会[9月7日(月)]について

(深澤常任理事)

協議事項第3号で併せて報告

3. 第31回産業保健活動推進全国会議[9月10日(木)]について(神山常任理事)

唐澤日医会長ら4主催者の挨拶に引き続き、午前、地域産業保健センターと産業保健推進センターから活動事例が報告された。午後からは「メンタルヘルス対策」をテーマとしたシンポジウムや、「勤務医の健康支援」についての報告が行われた。その後、各地域からの質問・要望に対する質疑応答が交わされた。

4. 東京都医師会「第1回医療と医政研究会」[9月14日(月)]について(宮本副会長)

唐澤日医会長から「国民医療の文化的役割～これからの超高齢化社会と国民福祉～」をテーマに講演が行われ、最後に来年4月の日医会長選挙への立起表明があった。

5. 第2回都道府県医師会長協議会[9月15日(火)]について(三宅副会長)

都道府県医師会から提出のあった7題と、日医から提出の1題、あわせて8題の事項について協議が行われた。

6. 郡市医師会生涯教育担当理事連絡協議会[9月26日(土)]について(渡邊常任理事)

22年度以降新たに導入される日医生涯教育制度実施要綱について、生涯教育カリキュラムの変更、認定方法の変更、とくに、3年間で30単位かつ30カリキュラム以上受講した場合に認定証が発行されることなどを説明。また、平成20年度と同講座実施状況、助成等の説明を行った。

7. 第89回北海道医学大会総会・平成21年度北海道医師会賞贈呈式[9月26日(土)]について

(渡邊常任理事)

本年度は初めに北海道医師会賞・北海道知事賞贈呈式が行われた。医学大会総会では各科トピックス、特別講演、引き続いて受賞祝賀会が行われた。今大会の参加者は169名であった。

8. 第1回勤務医部会運営委員会[9月27日(日)]について(北野常任理事)

12月6日(日)の勤務医部会全体会議の内容について検討を行った。日医各委員会等の報告のほか、討議では、勤務医の過重労働の負担軽減に重要な役割を担う「医療クラーク」をテーマとすることとした。

9. 日医理事会報告(長瀬会長)

第4回麻しん対策推進会議、内服薬処方せんの記載方法の在り方に関する検討会などにつき報告の後、平成21年度日本医師会医学賞・医学研究助成費の選考結果、平成22年度「日本医師会生涯教育制度」実施要綱などにつき協議した。

10. 日医各委員会報告

(1) 医療政策会議[9月16日(水)]について

(長瀬会長)

島崎謙治政策研究大学院大学教授から「社会経済構造の変化と医療政策のあり方」と題した講演の後、フリーディスカッションを行った。

(2) 母体保護法等に関する検討委員会[9月17日(木)]について(深澤常任理事)

会長諮問の「適正な産科診療(妊婦健診、分娩等)のあり方について」に関して答申作成に向け具体的に協議した。

(3) 介護保険委員会[9月17日(木)]について

(前川常任理事)

要介護認定の見直しに係る検証・検討会での審議状況について報告の後、22年1月に予定している平成20・21年の会長諮問に対する答申作成に向け、前回示された「在宅における医療・介護の提供体制ー『かかりつけ医機能』の充実ー指針」の補完・補充についての検討を行った。

(4) 広報委員会[9月17日(木)]について

(山科常任理事)

標記委員会の第8回会議が開催され、宝住副会長の挨拶に引き続き、中川常任理事から中央情勢報告があった。協議では、「日医ホームページ」のトップページのデザイン変更について検討し、「報告書作成に向けて」では「これまでの広報は何が悪かったか」「広報はどうあるべきか」について意見が交換された。

(5) 地域医療対策委員会[9月17日(木)]について

(直江常任理事)

報告書作成に向け、「地域社会の医療ニーズと医療提供体制の在り方」について論点整理し、医師確保対策、次期医療法改正(医療審議会、地域医療対策協議会、医療計画、二次医療圏のあり方)などについて審議した。

(6) がん対策推進委員会[9月25日(金)]について

(畑副会長)

答申「がん検診の今後のあり方ー検診受診率向上と精度管理システムー」(案)について、分担執筆した委員の原稿をもとにフリーディスカッションした。なお、本委員会に先立ち、国立がんセンターがん対策情報センターが主催する「がん検診受診率向上指導事業」第1回がん検診受診率向上アドバイザーパネル委員会が開かれ、小職が委員として参加、「かかりつけ医がん検診ハンドブック(仮称)」のコンセプトやコン

テンツについて討論された。

11. 外部各委員会報告

(1) 第1回北海道医療審議会[9月10日(木)]について (三宅副会長)

医療法人の認可およびへき地等病院の医師配置標準特例措置の許可状況などについて報告がなされた後、北海道医療計画へ掲載する医療機関の掲載基準について審議した。

道総医協関連事項 (三宅副会長)

1. 第3回地域医療専門委員会[9月9日(水)]について (宮本副会長)

北海道医療計画の一部変更等について報告があった。その後、地域医療再生計画の地域選定について協議し、「再生の必要度」「事業の効果」「事業の実現性」の3つの観点から事業計画を提出している二次医療圏20圏域から7圏域を選定した。また、医育大学・関係団体から同計画における全道域事業の提案があり、協議を行った。

道医の動き

9月11日	患者接遇に関する研修会 (恵庭市、水谷常任理事)	9月30日	うつ病対策研修会(小樽市、小山常任理事)、精神科診療連携体制に関する打合せ(小樽市、小山常任理事)、日医生涯教育推進委員会(渡邊常任理事)、日医女性医師等相談事業連絡協議会(藤井常任理事)、緊急臨時的医師派遣事業運営委員会
9月12日	第12回常任理事会、議事運営委員会、道看護政策グループとの打合せ	10月 1日	地域医療に関わる地域別意見交換会 (名寄市、長瀬会長、宮本副会長、直江常任理事)、保険医療医師研修懇談会 (深川市、三宅副会長、榊山・藤原各常任理事)、日医医療IT委員会(水谷常任理事)、日医会員の倫理資質向上委員会(山光理事)
9月13日	第132回臨時時代議員会、平成21年臨時総会、日医代議員打合せ会	10月 3日	第4回理事会(移動・中央ブロック)
9月15日	日医理事会(長瀬会長)、都道府県医師会長協議会(長瀬会長、三宅副会長)	10月 6日	介護保険制度・障害者自立支援法にかかわる主治医研修会(北見市、前川常任理事)、北海道小児救急地域医師研修会(十勝)(帯広市、目黒常任理事)
9月16日	母体保護法指定医師審査委員会、北海道厚生局との打合せ、日医医師会共同利用施設検討委員会(伊藤理事)	10月 7日	北海道小児救急地域医師研修会(釧路・根室)(釧路市、目黒常任理事)、日医社会保険診療報酬検討委員会(藤原常任理事)
9月17日	産業保健研修会(帯広市、目黒常任理事)、日医母体保護法等に関する検討委員会(深澤常任理事)、日医地域医療対策委員会(直江常任理事)、日医介護保険委員会(前川常任理事)、日医広報委員会(山科常任理事)	10月 8日	道議会自民党議員との勉強会、日医母子保健検討委員会(津田理事)
9月18日	患者接遇に関する研修会(石狩)(長瀬会長、水谷常任理事)、保険医療医師研修懇談会(紋別市、藤原・榊山各常任理事)	10月 9日	うつ病対策研修会(函館市、小山常任理事)、精神科診療連携体制に関する打合せ(函館市、小山常任理事)、日医医事法関係検討委員会(橋本常任理事)
9月25日	日医がん対策推進委員会(畑副会長)	10月10日	日医標準レセプトソフト(ORCAプロジェクト)普及説明会、日医特別管理産業廃棄物管理責任者資格取得講習会(三戸常任理事)、東北・北海道医師会共同利用施設連絡協議会(山形市、長瀬会長、畑副会長、北野常任理事)
9月26日	郡市医師会生涯教育担当理事連絡協議会、北海道医学大会総会・医師会賞贈呈式		
9月27日	勤務医部会運営委員会		
9月28日	三役会、健保請求事務研修会(小樽市)		
9月29日	第13回常任理事会、医業経営・福利厚生部担当理事会、地域医療再生計画に関		